

西之島の火口周辺警報（入山危険）を火口周辺警報（火口周辺危険）に引き下げました

西之島に発表していた火口周辺警報（入山危険）を、本日（17日）15時00分に、火口周辺警報（火口周辺危険）に引き下げ、警戒が必要な範囲を 1.5km から 500m に縮小しました。

西之島では、2013年11月以降、噴石等を放出する噴火や溶岩の流出が続いていましたが、2015年11月下旬以降はいずれも確認されていません。同年12月以降は地表面温度の低下した状態が続いています。

2016年6月14日の第135回火山噴火予知連絡会では、西之島の火山活動について「火山活動の明らかな低下が認められるものの、火山ガスの放出が続いています。火口周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。」との評価がなされました。

その後の観測で、火山ガスの大幅な減少や火口周辺の沈降などが確認されています。また、7月19日に海上保安庁が実施した上空からの現地観測でも、火口からの噴気の放出は確認されていません。さらに、その現地観測以降も、地表面温度の低下した状態が続いていることが、衛星画像から確認されています。

これらのことから、西之島では島内の広い範囲で警戒が必要な噴火が発生する可能性は低下したと考えられますが、一方、火口付近には高温領域が引き続き確認されており、火道域に海水が浸入した際には小規模な噴火が発生する可能性があります。

そのため、気象庁は、西之島に発表していた火口周辺警報（入山危険）を、本日（17日）15時00分に、火口周辺警報（火口周辺危険）に引き下げ、警戒が必要な範囲を 1.5km から 500m に縮小しました。また、噴火による影響が海上まで及ぶおそれなくなったことから、火山現象に関する海上警報を解除しました。

火口から概ね 500m 以内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっても、表面に生じた割れ目の一部が高温になっているほか、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意が必要です。

【本件に関する問合せ先】

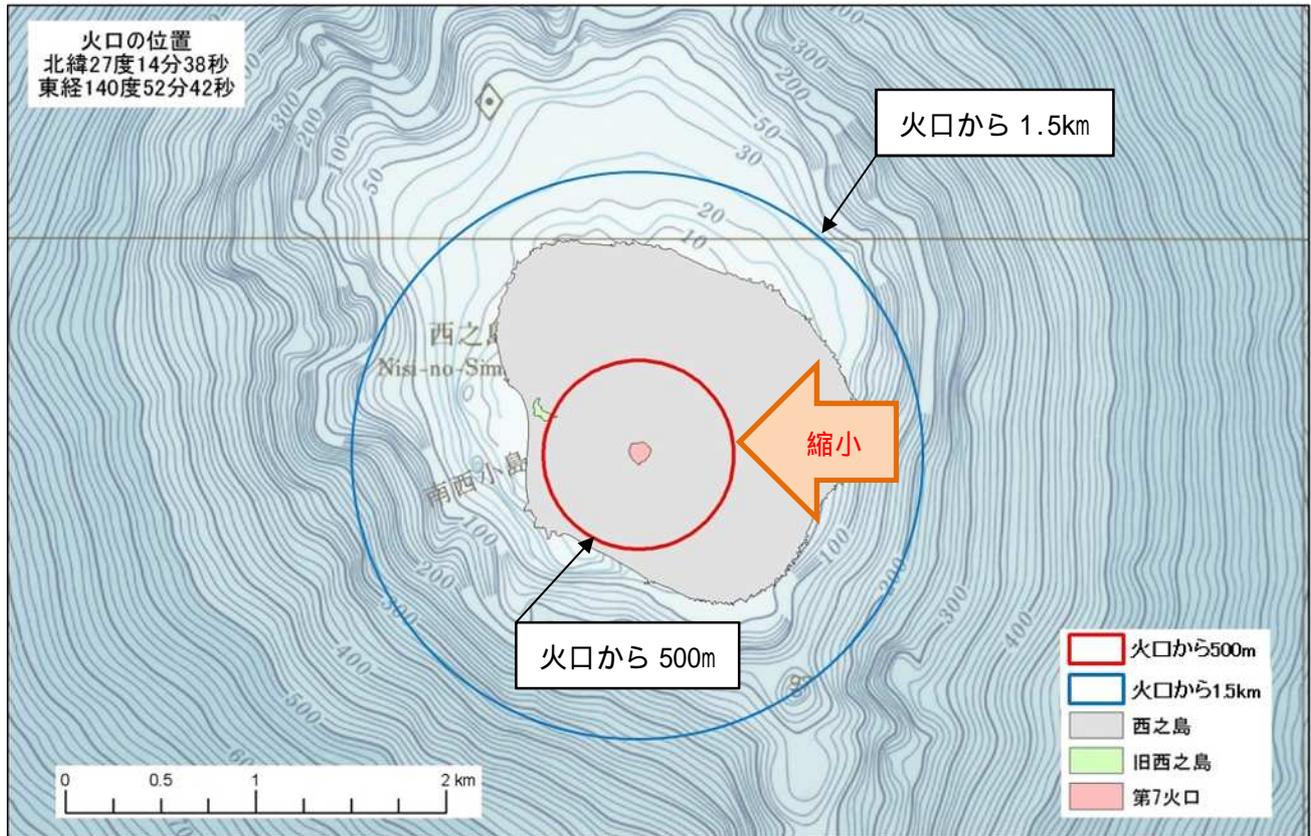
気象庁地震火山部火山課

電話 03-3212-8341 内線 4538

(別紙)

警戒が必要な範囲(海上保安庁提供図に加筆)

海底地形は噴火前のもので、現状とは異なります。



噴火警報・予報の種類(噴火警戒レベルが運用されていない火山)

種別	名称	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及び それより火口側	居住地域及び それより火口側の範囲に における嚴重な警戒 居住地域嚴重警戒	居住地域に重大な被害を及ぼす 噴火が発生、あるいは発生すると 予想される。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域近くまでの 広い範囲の火口周辺	火口から 居住地域近くまでの 広い範囲の火口周辺 における警戒 入山危険	居住地域の近くまで重大な影響 を及ぼす(この範囲に入った場合 には生命に危険が及ぶ)噴火が 発生、あるいは発生すると予想さ れる。
		火口から 少し離れた所までの 火口周辺	火口から 少し離れた所までの火口周辺 における警戒 火口周辺危険	火口周辺に影響を及ぼす(この 範囲に入った場合には生命に危 険が及ぶ)噴火が発生、あるい は発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	活火山であることに 留意	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口 内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合には生 命に危険が及ぶ)。